

第15回 「市民と議員の懇談会」

報告書

令和2年11月13日～令和3年3月27日



奥州市議会市政調査会

目 次

	ページ
1 開催要項	1
2 開催状況	2
3 各班報告書	
総務常任委員会 報告・概要	3 ～ 6
教育厚生常任委員会 報告・概要	7 ～ 9
産業経済常任委員会 報告・概要	10 ～ 12
建設環境常任委員会 報告・概要	13 ～ 16

令和2年度 市民と議員の懇談会開催要項

1 趣旨

議会情報の発信の場及び市民と議会との多様な意見交換の場として、「市民と議員の懇談会」（以下「懇談会」という。）を開催し、議会の立場から市民への市政に関する情報提供に努めるとともに、議会に対する意見、提言、批判等市民の声を直接かつ広く聴取することにより、議会の監視機能及び政策提言機能を高める。

2 実施主体

奥州市議会市政調査会

3 開催方法

懇談会は、常任委員会ごとにテーマを定め、そのテーマに関係する団体等及びテーマに関心がある市民に参集いただき、同委員会を単位として開催する。

なお、開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けたイベント等の対応方針について（令和2年9月17日改訂）に従うこととする。

以下、主な留意事項（抜粋）

- ・マスク着用等徹底した感染防止等
- ・消毒、三密の回避、参加者の把握等基本的な感染防止等
- ・入退場やエリア内の行動管理等

4 内容

懇談会は、議会報告及び意見交換の2部構成とし、以下の内容で開催する。

(1) 議会報告

令和2年における議会活動の概要について報告する。

(2) 意見交換

常任委員会ごとに定めたテーマについて、ワールド・カフェ形式（少人数のグループごとに意見交換を行い、途中でグループ構成を変更しながら、自由に意見を出し合う対話の仕方）により意見交換を行う。

(3) 感染症対策

- ・参加者はマスクを着用し、主催者は参加者に対し、消毒液による手指消毒及び非接触型検温器による検温を実施する。
- ・会場にマスクを配備する。
- ・各テーブルの定員は5名（参加者4名＋議員1名）とし、参加者の間隔は概ね1メートル、テーブルの間隔は2メートル以上確保する。
- ・飲み物はペットボトルで提供する。

5 開催日程

懇談会は、令和2年中を目途に開催するものとし、テーマ、日程、会場等の詳細は各常任委員会が定める。

市民と議員の懇談会開催状況

開催日	事業名	備考
第15回「市民と議員の懇談会」〈4会場〉		計
11月13日 (金)	【産業経済常任委員会】14:00～16:10 テーマ：商工業の振興策について 奥州市役所3階講堂	13
11月17日 (火)	【総務常任委員会】13:30～16:00 テーマ：地区内交通の在り方について 奥州市役所7階委員会室	14
12月18日 (金)	【建設環境常任委員会】14:00～17:00 テーマ：持続可能な社会の実現に向けて ～SDGsを通じて取り組む環境問題について～ 奥州市役所7階委員会室	13
令和3年 3月27日 (土)	【教育厚生常任委員会】10:00～12:00 テーマ：少子化における学校教育の在り方 ～学校再編計画を考える～ 奥州市役所3階講堂	13
合 計		53
第14回 (R1.11) 4会場		77
第13回 (H31.2) 4会場		69
第12回 (H29.11) 5会場		81
第11回 (H29.2) 5会場		137
第10回 (H28.2) 5会場		293
第9回 (H27.11) 5会場 (消防団各方面隊対象)		146
第8回 (H27.11) 10会場		141
第7回 (H26.11) 20会場		289
第6回 (H25.11) 5会場 (女性団体対象)		94
第5回 (H25.6) 10会場		143
第4回 (H24.7～8) 30会場		454
第3回 (H24.2) 10会場		206
第2回 (H23.7) 10会場		185
第1回 (H22.10～11) 10会場		134

第 15 回「市民と議員の懇談会」報告書

総務常任委員会

1 開催日時	令和2年11月17日(火) 13:30～16:00
2 懇談テーマ	地区内交通の在り方について
3 会場	奥州市役所 7階委員会室
4 参加者数	14名
5 出席委員	班長 中西 秀俊 委員 進行係 菅原 圭子 委員 説明係 高橋 晋 委員 記録係 今野 裕文 委員、菅原 由和 委員 受付係 佐藤 郁夫 委員
6 懇談会の概要	P 4～6 のとおり
7 反省点、 次回の課題等	<p>ワールドカフェ方式による懇談会は大分定着してきたこともあり、時間配分通りスムーズな進行ができた。</p> <p>参加者の感想として、「満足」と「やや満足」が全体の約8割で、概ね好評を頂き有意義な懇談会であった。</p> <p>しかし、参加者の意見として、「地域の実情が違うことから、この方式による議論は如何か」「同じような地区同士で集まった方が良いのではないか」という意見もあった。</p> <p>参加者は各地域の代表者であり、今後の事業展開に向けた良い機会と捉え、具体的な意見交換も期待されていたことから、テーブル移動における配慮のほか、テーマによっては市内全域を対象としたものだけでなく、地域ごとや実情に応じた団体ごとなど開催方法の検討も必要ではないか。</p> <p>また、この懇談会の結果を議会としてどのように反映するのか注目しているとの意見もあり、参加者をはじめ市民へのフィードバックの方法も工夫する必要があると感じた。</p>

第15回「市民と議員の懇談会」概要 【総務】常任委員会

①意見交換(ワールドカフェ)

No. 1

No.	意見・提言等
1	<p>■ 懇談テーマに関する意見・要望</p> <p>1 【現状把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市担当部署の対応が遅い。 ・ 高校生が公共交通を利用しない。 ・ 地区内交通を運営するにあたり、事務負担、予算、人材不足、個人情報取扱い等が課題である。 ・ 各地区の事情があり、統一は難しいと思われることから、多少、地区毎に特色があっても良いのではないか。 ・ 地区・地域によってそれぞれ課題があることが分かった。 ・ 現在運行しているバスに1日1、2人くらいとなれば財政健全化に影響があるが、弱者を守らなければならない。 ・ 地理的な事情があるように、交通事情や利用形態の要望も統一的にはできないと思う。 ・ 各地区環境の違いがある。 ・ 生活エリアをはっきりさせなくてはならない。 ・ 地域性の思いは強いものがある。 ・ 振興会に意見や対応を求めてくるが、振興会の責任や人員では無理がある。 ・ 公共交通の課題は地区センターの大きな課題であり、改めて取り組んでいきたい。 ・ 地域の実情を把握しての対策の検討が必要である。同じ地域だから皆同じとは限らない。 ・ 交通接点の規制緩和が必要である。 ・ 各地区での公共交通の考え方は同様であると感じた。 <p>2 【料金・運行形態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者対応として、地区内における集合場所は100m以内とした方が良い。 ・ 最善策は玄関までの送迎をお願いしたい。 ・ 地区内交通は定期料金による運行としてはどうか。 ・ 無駄な運行をしないために、月・水・金の1日3回として誘い合って乗車した方が良い。 ・ フリー乗車方式を進めて欲しい。 ・ 少子化、高齢化が進むので、ドアートウドアやフリー乗車等は今後必要と思われる。 ・ 市内のタクシー会社と連携し、各地区に営業所を設置し地区内交通の乗り合い形式にすれば、利用者も増えるのではないかと思う。 ・ 各地区の事情があり、統一は難しいと思われることから、多少、地区毎に特色があっても良いのではないか。 <p>3 【今後の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政が住民の意見を吸い上げるためには、地区センターに職員を1名常駐させるべき。 ・ これといった解決策が見つからないことから、市側からも地区内交通の取組みに対して指導して頂き前向きな取組みを実現したい。 ・ 稲瀬方式の9月までと、10月からの運行状況について勉強会をして欲しい。 ・ 地区内交通は奥州市内でもバラバラで、自分の地域にあったものを選択していきたい。 ・ 事業を実施していくには、先進地等の様子を学習しながら検討していくのも一つの方法である。 ・ 地区センターに市職員1名の配置が必要である。 ・ 地域・地区のために一生懸命頑張ります。

第15回「市民と議員の懇談会」概要 【総務】常任委員会

No. 2

No.	意見・提言等
4	<p>【スクールバス混乗】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスへの混乗を要望する。 ・スクールバスの利用をして欲しい。 ・小中学校の統合により、地域からスクールバスの利用が必要となるので、スクールバスを利用して、高齢者も一緒に乗れるのが理想的である。コミュニケーションにもなるし「あるものを生かす」必要がある。
5	<p>【公共交通計画全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院等への対応は、現在の市の交通システムを再構築した方が良いと思う。 ・しかし、幹線道路と支線道路を分けて考えれば、市で行える部分と地区で行える部分が見えてくると思う。 ・市は学校再編や公共施設再編等のビジョンを持ち、責任感をもって交通政策をリードして欲しい。 ・交通計画は、学校再編を含めて利便ロスの少ない計画を工夫すべきだ。その際、市の責任、地区の責任、個人の責任を整理すべきだ。 ・議会も市民代表として、交通計画をリードして欲しい。 ・奥州市の統一したビジョンが見えないことから、市の課を超えた柔軟な対応を希望する。 (例)スクールバスは他の課だから難しいとか、その辺を考えて欲しい。 ・街場だけではなく、山間地の声をもっと聞いて欲しい。 ・衣川から水沢までの直通バスの確保をして欲しい。 ・市民の足を守るために予算を出して欲しい。事業に投資をすることは大事なことである。 <p>■ 参加者の感想</p> <p>満足 ……………3名 やや満足……………8名 どちらでもない………3名 やや不満……………0名 不満 ……………0名</p> <p>■ ワールドカフェに対する意見・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情が全て異なることから、同一テーブルでの議論は成り立たない。 ・地域によって状況が違うので、この方式はどうかと思う。 ・コーディネーターの進め方が重要である。後でまとめて困るのではないか。 ・何ヶ所か移動しての話し合いは、色々な意見を聞くことができ良かった。 ・議題によっては同じような地区でまとまった方が良い。今回の地区内交通は特に感じた。 ・今回のワールドカフェの結果がどのように反映させるのか注目している。 ・議員の皆様と笑顔多く懇談できたことは、議会を身近に感ずるに足る催しものであった。 ・自分の班では、全員笑顔で話し合うことが出来た。 ・今回の話し合いにより、参加者の皆さんの様々な考え方や意見を聞くことができ良かった。 ・ワールドカフェに初めて参加して、この方法がどう進行されるのか理解することができた。 ・こうした企画は、旧市町村単位で行うことは大きな意義があるので、今後検討願いたい。

第15回「市民と議員の懇談会」概要 【総務】常任委員会

②議会へのご意見等

No.

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
1	<p>「少子高齢化」という言葉が非常に安易に使われている。少子高齢化だからこうしようではなく、止めなければならない。その言葉を使うのをやめなければ止められないと私は確信している。</p> <p>私からの提案として、少子高齢化という言葉を使うのをやめないか。</p>		

第 15 回「市民と議員の懇談会」報告書

教育厚生 常任委員会

1 開催日時	令和3年3月27日（土） 午前10時00分 から 午後12時00分
2 懇談テーマ	少子化における学校教育の在り方について ～学校再編計画を考える～
3 会 場	奥州市役所3階 講堂
4 参加者数	13名
5 出席議員	班長 高橋 政一 議員 進行係 小野寺 満 議員 説明係 高橋 浩 議員 議員 記録係 小野 優 議員 千葉 敦 議員 受付係 阿部加代子 議員 及川 佐 議員

6 懇談会の概要 P 8～9のとおり

7 反省点、次回の課題等

年度末での実施ということもあったせい出席者の数はこれまでに比べて少なかった、その分密度の濃い話し合いができたのでは、と思われる。

今回は議会が呼びかけたことによって地域の垣根を越えて集まる機会となっており、参加者からも「他の地域の話聞く貴重な機会となった」と一定の評価を得ることができた。

学校再編については、不安な点は多くあるものの、再編そのものを強く否定する声はなかった。

その不安点を、「議会としてどのように解消できるのか」が新年度の活動テーマの一つになるのでは、と感じた。

第15回「市民と議員の懇談会」概要

【教育厚生】常任委員会 令和3年3月27日(土) 会場 奥州市役所3階講堂

①意見交換(ワールドカフェ)

No. 1

No.	意見・提言等
1	<p>【学校規模】 (肯定的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化なので統合は避けられない。 ・統合によって子供達にとってよりよい教育を。 ・少人数より20人ぐらいの方がいい。 ・1クラス35名位でも子供達が知って居る。 ・各学年複数のクラスで様々な人と出会い交流できると良い。 ・クラス替えのドキドキ感は人生のプラスでは。 ・子供が少ないとケンカしたときが大変。 ・部活動の選択肢が多い方がいい。 <p>(不安な点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同級生が誰かわからなくなる。親も。 ・子供同士の関係性も変わってくる。親同士の関係性が希薄になる。 ・統合すると運動会の出場種目が減ってしまうのでは。 ・教室の数などの計画性は。特殊学級が減ると聞いている。 ・各小学校の問題点の共有。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部によっては、統合前の旧チーム単独で、中総体予選に出たい。 ・コロナで行事が無く保護者が集まる機会も減ったため、誰が誰かわからない。
2	<p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元意識や地域活動が薄まる。 ・地域離れが進んで行くと感じている。地域の良い所が、少なくなって居る。 ・公園が有れば集まるが、郊外は少ない。 ・住民が学校に関わる事が少なくなる。 <ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能の伝承は地区センターで担えるのでは。 ・部落や行政区で地域のお祭りがあるときに早退が認められるのがいい。 ・元々地域に伝わる伝統文化がなかった学校では新しい文化が芽生えるのでは。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校跡地の活用。
3	<p>【スクールバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスに帰りに乗れない場合 放課後子ども教室で預かってもらえるか。 ・雪でバス停までたどり着かなかった。 ・スクールバスに寄って運動量が減る。 ・学校が遠くなることで登下校が心配。

No.	意見・提言等
4	【指導手法】 <ul style="list-style-type: none"> ・複式学習は悪いのか？→学習面は変わらないが、クラスの人数が少ない事により、子どもの立場・関係が固定。 ・タブレット等による子供達の変化は？英語教育にも効果が有るのでは。 ・子供達のエリア、制限有りの中でタブレットを上手く活用すべき。
5	【情報発信】 <ul style="list-style-type: none"> ・統合に関する事について、対象保護者への細やかな情報提供を要望します。 ・学校再編計画は、突然であった。もっと、地域・保護者に寄りそって欲しい。どういうメリットがあるのか、わかることも。状況の細かい説明が見えてこない。 ・展開が急すぎる。情報を早く。
6	【放課後、休日】 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブはどうなるのか。 ・子どもの休日の過ごし方。友だちが遠くに住んでいる。
7	【PTA】 <ul style="list-style-type: none"> ・PTA役員の決定方法。 ・役員の地区割り人数が不安。
8	【前沢小学校の経験】 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響もあるが、大規模になると保護者の顔もわからなくなる。 ・スクールバスに寄って運動量が減ったため、下校時、乗車前に校庭を歩く。 ・少子化は止まらない。統合していなかったらどうなっていたか。
9	【人口問題】 <ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策ではなく人口を増やす取り組みを。 ・少子化の遠因のひとつが若い世代の収入減。 ・自分の同級生も地元に戻ってきていない。ここで産み育てるためには何が必要なのか。雇用？保育所？
10	【再編に対する感想等】 <ul style="list-style-type: none"> ・温度差は感じるが、再編はやむなし。 ・教育は子どもの為、大人が折り合いを。 ・再編の基本的考え方として、少子化対策なのか、地域対策なのか。
参加者からの感想 満足…3人、やや満足…5人、どちらでもない…0人、やや不満…0人、不満…0人	
その他、意見、要望 <ul style="list-style-type: none"> ・他の地域の方の意見や考えを聞けて大変貴重な体験となりました。 ・学校再編は児童の減少(市民の減少ありき)マイナスの考え方からきている様に見えるので、奥州市として人口の増加につながる策等を検討しているのか。 ・統合後のスクールバスに乗り遅れた等の事業に対する児童保育の柔軟な対応を検討してほしい。 ・各小学校に細やかな情報発信をしてほしい。 ・最初、「懇談会」ということでかなり身構えましたが、気軽な内容で安心しました。(案内文書には「ワールドカフェ」等やわらかい表現の方が参加しやすいのでは。 ・地域差の違いに驚きました。子どもたちが平等に教育を受けられる環境をお願いします。 	

第 15 回「市民と議員の懇談会」報告書

産業経済 常任委員会

1 開催月日	令和 2 年 11 月 13 日 (金) 午後 2 時 から 午後 4 時 10 分
2 懇談テーマ	商工業の振興策について
3 会 場	奥州市役所 3 階 講堂
4 参加者数	13 名
5 出席委員	班 長 菅原 明 委員 進行係 廣野 富男 委員 説明係 藤田 慶則 委員 記録係 千葉 和彦 委員 及川 春樹 委員 受付係 瀬川 貞清 委員

6 懇談会の概要 P 11～12 のとおり

7 反省点、次回の課題等

テーマの「商工業の振興策」については、内容が多岐にわたり広すぎてテーブルでの話し合いでまとめるのが難しかった。また参加者を先に決めてしまったので、テーマと内容に乖離があったかもしれない。商業と工業では、その関係者もマーケットも違うので参加して頂く方々の職種も検討すべきであった。大きく分けると商業においては生産者と需要者の間に立って商品を売買し、利益を得ることを目的とする事業であり、利益となるものは商品を移動させて仕入れ+サービスによって販売額となりサービスとしての付加価値が利益として残る。工業では仕入れた原材料に加工等と言った付加価値を付加することにより利益が残る。業種によりその付加価値は様々ではあるが、大きい価値とはどのような事かを確認する必要性を感じた。

政策提言に進むためには制度や条例の理解が先で、それらと参加者からの意見と照らし合わせてどの様に変更、廃止、新設と言ったことが見えてこないと抽象的な方向性に偏ると思う。また多様化する商工業の現状を実際の現場や生の声を聞く必要性を感じた。

ワールドカフェについては概ね満足との意見を頂いたが、各参加者の思いもあり時間超過に至りやすく感じる、差しさわりのない程度で時間管理の方法が必要と思う。各参加者は言葉では話が進むが、ペンでの書き込みは躊躇しているように見える。フローチャートに出来るように進行係、司会者の手助けが必要ではないかと感じる。市民の方々との意見交換としては良い機会と思うので、担当部の参加があっても良いと思う。

第15回「市民と議員の懇談会」概要 【 産業経済 】常任委員会

①意見交換(ワールドカフェ)

No.	意見・提言等
1	<p>1 商店、商店街について</p> <p>○商売の形態が変わってきている。商店→インターネット販売→宅配</p> <p>○商店街組合は、名前ばかりのところが多い。当商店街は、以前は30を超える店舗があったが、現在物販を行っているのは5軒のみで住宅街になっている。奥州市の中心市街地の活性化は不可能になってきている。</p> <p>○商店街は、商売の土俵を変えていく必要がある。インターネット販売や大手資本と勝負するには、違う土俵で戦う必要がある。それぞれの商店街はその地域の価値を上げるためのことを考える必要がある。例えば、複数の医療機関が中心となったまちづくりなど、個性を活かすべき。</p> <p>○かつて、各商店街は駐車場問題をいつてきたが、今はインターネット販売等が競争相手であるので、買い物客に来てもらうより「便利に買える環境整備」が重要。新たな販売方法を検討していかなければ時代に流されてしまう。市としても先進事例の収集や検討を始めるべきではないか。</p> <p>2 空き家、空き店舗対策について</p> <p>○「働きたいまち」「魅力あるまち」「チャレンジできるまち」としての奥州市をめざす。そのために空き家（空き店舗）対策を強化する。セルフリノベーション（古民家活用）。とくに、都会から田舎に興味を持っている人への発信を強化する。興味を持つ人は多い。テレワークで仕事はできる。</p> <p>○空き店舗をリモートオフィスに活用する施策を。そのためには、フリーWi-Fiなどのインフラ整備を積極的に行うべき。</p> <p>○「空き家（空き店舗）」の件だが、水沢・駅通りでは難しい。土地はお寺の敷地である。上物は「自宅兼店舗」のため、表は空き店舗でも裏には人が住んでいる。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症を良い意味で活用する。テレワークオフィスの設置等。</p> <p>3 魅力のある商品の開発について</p> <p>○生産人口に目を向ける必要がある。商売をしている人にとっては「ブランド」や「差別化」が重要だ。買ってもらえる商品、売れる商品を開発する必要がある。</p> <p>○魅力ある商品の開発は重要。若手の杜氏が「ひとめぼれ」「吟ぎんが」を使って奥州市の酒を造った。水沢で地ビールを作っている人が居る。</p> <p>○市では6次化産業ビジョンを策定し取組んでいるが、方向性を再確認するべき。奥州市の特産は米である。市をあげて甘酒に取組んではどうか。健康ブームもあり良いと思う。学者も結集してプロジェクトチームを作ってはどうか。また当地には優良な麴文化もあるので新たな産業を育成してはどうか。</p> <p>4 魅力のある観光資源や施設の整備、発信について</p> <p>○他商業圏への流出が懸念される。他にはないスポーツ施設等、若い人たちが求める場所が必要ではないか。そのことにより、他商業圏から人を呼び込むことはできないか。</p> <p>○田舎の口コミの力をあなどってはいけないと思う。おばさん達のパワーを使っていくべき。既にカヌーが上手いきそうなレベルまで来ているので、カヌーを生かしたまちづくり。花と紅葉を見にきてもらう。</p> <p>○（カヌー等の）既存施設を活用、整備強化し、市外からの流入を促進する。若者の集う、熱量を感じる水沢の街中のイベントを強化し、発展の進みを探ること。若者が帰ってきたときの受け皿（起業も含めて）応援、推進する。</p> <p>5 行政への要望や財政について</p> <p>○個店が輝くことが大事。個店がやろうとすることをサポートすることが行政の役割。</p> <p>○今頑張っている商店をサポートしてほしい。年次計画は1つ1つ着実に進めてもらいたい。</p> <p>○奥州市（行政・議員）には財政のプロを確保すべき、勉強するべき。</p> <p>○財政について意見が出ないのはマズイと思う。夢物語にならないように、行動する時期に来ていると思う。</p> <p>○これからは奥州市の予算も減り人も減ります。選択と集中が必要。</p> <p>○市にお願いしたいのは、やる気のある人たちは少なからずいるので、その方を育成する勉強会などを継続的に実施し、新たなアイデアを出せる環境を整備して欲しい。</p> <p>6 その他</p> <p>○人材の流出（高校を卒業すると多くは都市部に出て行ったまま戻ってこない）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業団地を造ること。子どもの就職は子どもが決めているわけではない。いかに地元就職に向けるか。

・地域にいる人たちの人材育成・教育 ITやIOTに対応できるように。

○奥州市の玄関口である水沢江刺駅周辺の活性化。他地域から来訪される人にとっては、周辺地が開発されておらず不便であり印象も良くない。せつかく来ても交通手段が少ない。コロナ渦のなか企業はBCPを進めリスク分散をしている。サテライトオフィスを整備し、新たな町を新幹線駅前に創るべき。

○奥州市の南の玄関口である衣川・前沢地域の既存商店街や観光施設の活用。

○奥州市は広いという事、問題点についての解決策は必ずしも各旧市町村で共通の策にはならない。

○画一的な支援からその町の特性を活かす施策を。

○商店等のPR, 地域の掘り起こし。点ではなく線をつなげる、面で拡げる。上に伸ばす。

■参加者からの感想(13名)

- ・満足…………… 3名
- ・やや満足…………… 5名
- ・どちらでもない…… 3名
- ・やや不満…………… 1名
- ・不満…………… 0名
- ・無回答(未提出)…… 1名

■ワールドカフェに対する意見・要望

- ・子どもの意見も聞きたい。
- ・実現する事案が1つでも出来ますよう応援させていただきます。
- ・コロナで仕事をなくした人もいます。話を聞いて地元で働くようにしていければ。
- ・実務的な見地をやり取りする場がほしいです。我々ができることをもっと利用していただきたい。
- ・奥州市はどこに向かっていくのか。厳しい現状、課題をどこまで本気で考えられるか。
次世代になったとき、今何をしていたのか後悔したくない。
- ・貴重な機会をいただきまして大変ありがとうございました。
- ・何をこれからしたいのか、よく分かりません。
- ・意外と楽しかった。
- ・コロナ禍で仕方ないですが、やり方がちょっとよく分からなかったです。
- ・サブテーマから少々脱線した議論もあったが、様々な意見を聞くことができて良かった。
グループとして異なるサブテーマにした方が、具体的な施策、アイデアが出るように感じた。
- ・通常の会議より自由に発言できるワールドカフェのスタイルはもっと行っていくべき。
- ・各種イベントの中止が続く今こそ、市職員、議員、民間人が真剣に将来の奥州市を議論する絶好のチャンス。
- ・アイデアを具現化していく際に、0.9の人はいらぬ。1.1倍の人が集まることで夢がふくらむ。
- ・問題点が出たらやるためにどうしたら良いかを議論する。できない理由を並べる会議は時間の無駄である。
- ・多くの良いアイデアがある。それを活かすには、大きな流れ(ビジョン)が必要だと感じた。
- ・多くの方々の意見など、情報交換をすることができました。これを基に、今後の奥州市を市議の方々にもんでいただければと思います。
- ・私も地元で商売をしておりますので、今後の奥州市の未来のためにも、このような場をまた設けていただくと嬉しいです。
- ・「振興」とは、より多くの方がこのまちに集まり、まちが盛り上がっていくこと…そのためには何をすればよいのか考えることができた。

②議会へのご意見等

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
1	ワールドカフェは良いこと、何回あってもいい。テーブルから出た提案を進めてほしい。新型コロナの影響で議員も職員も時間はあると思うので。応援していく。	いただいたご意見は参考とさせていただきます。	
2	現在、各学校に求人票を出しているが、新型コロナの影響で都市部が大変なので、地元就職をしてくれるように、学校や保護者への説明の機会を持ってほしい。	いただいたご意見は参考とさせていただきます。	

第 15 回「市民と議員の懇談会」報告書

建設環境 常任委員会

1 開催日時	令和 2 年 12 月 18 日（金） 午後 2 時から午後 5 時
2 懇談テーマ	持続可能な社会の実現に向けて ～SDGs を通じて取り組む環境問題について～
3 会 場	奥州市役所 7 階 第 1 委員会室
4 参加者数	13 名
5 出席委員	班 長 小野寺 重 委員 進行係 加 藤 清 委員 説明係 飯 坂 一 也 委員 記録係 渡 辺 忠 委員 及 川 善 男 委員 受付係 千 葉 康 弘 委員
6 欠席委員	なし

7 懇談会の概要 P 14～16 のとおり

8 反省点、次回の課題等

..... テーマに関係する市民の皆様だけあって、それぞれの立場から多様な意見が出され、活発な議論になった。このワールド・カフェにお集まりいただいたことがきっかけとなり、その後の各団体の活動において互いに協力される方々も出るなど、市が協働のまちづくり第 3 ステージでねらいとする「つながる」が早速実現したところである。

..... ワールド・カフェも今回で 3 回目となり、各委員の進行もスムーズにできている。アンケートでも皆一様に満足、やや満足と回答いただいております、この形式での開催については異論を挟む余地はないものと思われる。参加者の感想を拝見しても、話し合いの中から生まれる納得感がそれぞれの表現から読み取れる。

..... ただ、テーマが大きくて議論の焦点がわかりづらい、土日開催にして幅広い世代が参加しやすいように、との意見も頂戴したところであり、次回の開催に当たっては、こういった部分にも配慮していきたい。

..... また、参加者からは議論の中で生まれた率直な思いについて、是非実現するよう求められた部分もあり、今後まとめ上げる政策提言においてしっかりと検討を重ねていきたい。

①意見交換(ワールド・カフェ)

No.	意見・提言等
1	<p>●SDGs</p> <p>【啓発の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの活用として、多様なメンバーでの活動、子供と一緒に学び、もったいないで未利用資源を掘り起こし、使う責任と働き甲斐を通じて楽しく学ぶ、減らす、生かすを実際に動かそう。 ・末端まで活動が浸透するには地区センターでの推進体制が大事。地区センターでも今後のあるべき姿を検討してほしい。 ・地区センターを活用し、推進体制の構築を。 ・小中学校での環境教育を。小さい頃からくらし方、考え方が身につくように、出前授業を。 ・市の現状などを小さい頃から話していけばアイデアが生まれてくるのではないか。 ・小さい頃から、楽しみながら環境問題に触れていくことが大事。 ・小さい子の方がやってくれる。生徒に紙芝居など啓蒙活動を。 ・不法投棄防止も、小さい頃からの教育が大事だ。子どもと大人が一緒になった活動が少なくなっている。 ・世代間の環境に対する意識の違いがある。 ・使い捨ての方が安い、それをもったいないと思える世界へ。 ・各地の自治会での活動が充実するように指導を。 ・SDGsの取組みは子供たちに良き未来を残すため ・出前講座は、代表だけではなく、一人ひとりに如何に浸透させるかが大切。
2	<p>【自治体の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンな奥州市を目指す運動の展開が必要。 ・国の補助事業施策に一早く手上げを。先行投資は最終的に市の予算に余力を与える。 ・ごみ処理に係る費用と未利用資源を生かす効果を表す。 ・各種ごみ処理のコストについて、資源ゴミを回収した後の収支を誰が見ても分かりやすい文章表現で。 ・ごみ問題に行政は財政支援を増やすべき。 ・市の考えが市民に広まっていない。 ・行政と企業とのマッチングが必要である。
3	<p>【地域エネルギーの取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオ燃料として飼料米のエタノール活用を。 ・胆江衛生センターの排熱を利用し、クリーンエネルギーとしての発電事業を行うべき。発電施設を設け、公共施設の電力を賄おう。 ・農業用水、パイプラインを活用し、た発電事業を考えては。 ・休耕田で稲を栽培し、それからエタノール油を取り出し、その残渣を鶏に与え、卵を生産する循環型の普及を。 ・県や市で、水道水・胆沢ダムからの水道管で、水力発電の研究を。
4	<p>●ごみの減量化</p> <p>【ごみ減量対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前はやっていたコンポストの活用で、改めて生ごみの減量対策を。 ・コンポストについて、鳥獣被害への対応策として見直すことも大事。 ・コンポストは自分のこととして地区センターのようところで話し合い、取組みを進めたい。 ・生ごみ対策として、段ボールコンポストに市の補助金制度を。 ・コンポストをいかに末端まで周知徹底させるか。 ・生ごみを燃えるごみに出さなければ、市にとって大きなメリットになるはず。 ・紙おむつの処理も大事だ。 ・生ごみ、紙おむつの処理には費用がかさむので、新たな体制を構築すべき。 ・公衆衛生予算の増額でごみ減量対策を。 ・農家ではプラスチックの育苗箱の処理に困っている。JAとの連携で対策してほしい。 ・福祉施策として高齢者に対しごみ出しの支援を。

5	<p>【食品ロス対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを出さないために、余った食材を子供食堂に。 ・食品ロスを減らすため、持ち帰り表示の普及を。 ・給食費を下げる工夫として、おにぎりの日とかを設けては。
6	<p>【分別の教育・啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル出前講座のように、生ごみ出前講座を。 ・ごみ処理、ペットボトルキャップ、エコ活動の各分野での出前授業を。 ・ごみ問題に若い方々の関心が薄い。子供の頃から関心を持ってもらう。 ・ごみについて視点を変えて見る力を養う。
7	<p>●リサイクル</p> <p>【資源の分別】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみの資料を分かりやすくしてほしい。 ・衣類、ビン類の回収が少ないのもっと行うべき。 ・買取価格、補助金のアップを。
8	<p>【地域での活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップの収集と活用を。 ・キャップの選別を高校生が部活動時間に実施している。 ・ペットボトルキャップ収集活動では、680kgで3,600円の収入がある。180人分のワクチン代。お金として集めれば少額だが、意識の醸成が大切だ。 ・自治体の活動など、もっと支援できればいいと思う。 ・子どもが減って、集団回収が少なくなっている。 ・北前沢では、毎週土曜日のリサイクルで年間10万円の収入。消火器を更新した。
9	<p>【リユース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ使える粗大ごみの再利用に関心がある。 ・ごみ再利用は誰にも理解できるように根拠となる資料を各世帯に配布すべき。 ・粗大ごみをリユース、手直し等で再利用すべき。 ・回収できる物の情報、不要物の再利用として粗大ゴミをリユースできないか。 ・リサイクルの現状として回収物がどの位活用されているか周知を。
10	<p>【リサイクルの教育・啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供と大人が楽しく学ぶことは大事である。 ・映像・体験等を楽しめるリサイクルパークの設置で大人も子供も学べる楽しい分別を。 ・子供を対象としたリサイクルパークの設置を。 ・市としてリサイクルパークのようなものを作り、そこに行けばいろいろなリサイクルできることを体験できるといふ場所があればよい。親子で遊びながら身につくように。一人ひとりが実行に結びつけられるように。 ・もったいない運動でまだまだ使える粗大ごみの利用を。 ・不要なものでも、手放すとなるとお金が惜しいので、気持ちよく手放す考え方の啓発を。
	<p>■参加者からの感想(11名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足…………… 2人 ・やや満足…………… 8人 ・どちらでもない… 0人 ・やや不満…………… 0人 ・不満…………… 0人 ・無回答…………… 1人

■その他の感想

【参加者へのアンケートから】

- ・時間が足りない。もっと話が出来たらいい。
- ・場、情報、人をつなぐ機会としてめぐみネットを活用してください。
- ・市職員の心意気次第だ。
- ・テーマがざっくりしすぎて、議論の焦点が分かりづらい。
- ・土日等の開催で、幅広い世代が参加しやすく。
- ・SDGsについて、今自分ができることは何かを考え、生活していくことが大事。
- ・温暖化につながっていることに目を向けていきたい。
- ・楽しく参加させていただきました。
- ・粗大プラスチックについて勉強になった。
- ・各方面の環境問題も知ることができ、新たな案も浮かんでとてもよい。
- ・参加者の環境に対する思いは大きい。

②議会へのご意見等

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
	なし		